

## 2022 年度小委員会活動成果報告

(2023 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	電磁シールド室品質検討小委員会	主 査 名：木村健一 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (電磁環境運営委員会)	委員長名：秋元孝之 主 査 名：遠藤哲夫
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2023 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	過去の検討をもとに、現存する電磁シールド室の要求仕様、シールド室が劣化する という事実、電磁シールド室の性能維持に必要な事項をまとめ公表する。 初年度：過去のデータのまとめと必要な追加データの検討 2 年度：公表のための活動	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：木村健一 (フジタ) 幹事：吉野涼二 (環境調査事務所)、田代英太 (波動システム研究所) 委員：遠藤利明 (巴コーポレーション)、山根利博 (清水建設)、鈴木宏和 (熊谷組)、 西村俊哉 (日本環境アメニティ)、福田光宏 (トーキン EMC エンジニアリング)、 小熊直樹 (大林組)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2022 年度予算	2,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	
委員会活動の問題点 ・課題	1. 積み残しの課題があるため、時間をかけて取りまとめを行う

- \* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- \* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

## 2022 年度 小委員会活動 自己評価

### (中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A    B <b>C</b> D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項 等)	<p>当初の想定に比べて、進捗が悪かった。しかしながらその原因の一つが、取り纏めに際して、いくつかの課題が見つかったことであったことから、次年度から新たに4年間で小委員会活動を行うこととした。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。